

大和公民館だより

発行者 大和公民館

〒409-1203 甲州市大和町初鹿野 1693-1

館長(有賀) 主事(三枝)

令和2年度「大和まちづくり推進会」事業の報告

甲州市の過疎地域等活性化対策事業補助金を受けて、各区長・各種団体代表者・有識者等26人で構成された「大和まちづくり推進会」は地域の課題解決・活性化を目指して、地域を元気にする実践事業を令和2年度も推進しました。

主な事業として、田野十二神楽演舞場修繕、集落センター一台所修繕及び座布団の整備、集会場照明のLED化、三島神社社殿倒木防止工事、ごみの集積ボックスの修繕、地域文化を継承するための祭典用幟旗の整備、それぞれの区単位での一斉清掃活動、大和スポーツ公園の草取り、大和会による笛子峠方面の不法投棄物の収集、JR甲斐大和駅前での地域の魅力発信活動等を実施しました。

昨年度の総事業費は242万円で、うち200万円が市の補助金です。なお、この事業は平成25年度に始まりましたが、令和2年度をもって市の補助金は終了となりました。

◎ 新任の大和公民館運営委員

役職の交代及び人事異動により、次の方々が新たに大和公民館運営委員として4月1日付で教育委員会から委嘱されました。(敬称略)

古屋公男（大和地区区長会副会長）

加 納 光太郎 (大和小学校長)

三枝敏明（大和中学校長）

◇ 大和公民館をご利用ください ◇

- ※ 令和2年度は、1,373人・19団体が大和公民館を利用されました。
 - ※ 公民館は皆さんの施設です。いつでも気軽にご利用ください。
 - ※ 公民館の利用は無料です。(ただし、営利目的での利用はできません)
 - ※ 利用を希望される場合は、あらかじめ「公民館利用申請書」に必要事項を記入して申し込みください。申請書用紙は公民館及びふるさと会館（市役所大和支所）窓口にあります。
 - 部屋の空き状況は、館長・主事またはふるさと会館へお問い合わせください。
 - 公民館利用の際は、コロナウイルス感染防止のためマスクの着用、手洗い及び手指の消毒、検温にご協力をお願いします。

笹子峠の西の麓の伝説・民話

松明山（ていまつやま）

駒飼宿の東に小高い山というよりも丘がある。村人は松明山（ていまつやま）と呼んでいる。今から500年も昔、この丘に狼煙台があり有事の際は、昼は煙で、夜は松明で合図して急を知らせたということである。

この狼煙台の近くに松の大木があり、その根方に山の神様を祀った小さな祠があった。山の神の御神体はピカピカに磨かれた大きな水晶の玉であった。日照りが続くと村人は山の神様に雨乞いをした。お祈りをすると御神体の水晶の玉が水気を含み、忽ち曇天となりご利益があり必ず雨が降ったと云うことである。

ある年、村の欲張り爺さんが御神体を一人占めにしようと家に持ち帰って、自分の畑だけ雨が降るように祈った。ところが長雨が続き、その家だけが水浸しになってしまった。これは山の神様の神罰だと爺さんは恐れをなして、さっそく御神体を山の祠へ返した。そうすると幾日も続いた長雨も上がり、からりと晴天になったということである。

今では松の木も伐られ、また山の神様を祀った祠も朽ち果てて、御神体もどうなったか定かでない。

叶岡地蔵（かなおかじぞう）

昔、大洪水があつて土の中に埋まっていたお地蔵さんが、土が洗い流されて再び姿を現した。村人はもつたいないと駒飼の仲宿の「叶屋（かのうや）」の屋敷にお祀りした。このお地蔵さんは、願い事を叶えてくださるので村人は叶岡地蔵（かなおかじぞう）さんと呼んでいる。真心こめてお願ひするとお地蔵さんは軽く持ち上がり、願い事を叶えてくれる。欲張った事をお願ひしたり邪心があると、重くてなんとしても持ち上がらず願い事を叶えてくれない。このため、村人から厚い信仰を集めていた。

幾人か役員さんを選び、毎年4月24日を祭りの日と定め、お祭りをして無病息災と幸福を祈願した。村には何事もなく長いこと息災の日が続いた。

ところがある年、毎年お祀りをするのも大変だから1年おきにしようと相談がまとまり、翌年はお祭りを休みとした。ところがどうしたことかその年、村に病気が流行り不思議なことに役員さんの者ばかり病気にかかった。きっとお地蔵さんのお祭りをしなかつたのではないかと噂が流れた。そこで、役員さんは寄合をして元通りお祭りをすることに決め、今日に至っている。

お地蔵さんはいつも慈しいお顔で村人を見守っていらっしゃる。